



港区

DATA	【人口】	261,896人 (R4.12.1現在)
	【面積】	20.37平方キロメートル
	【職員数】	2,209人 (R4.4.1現在)

《発表のテーマ》 自治体職員の働き方が必ず変わる！ 役所の『業務サポートセンター』

<発表概要>

港区では、平成31年4月から区役所内に「業務サポートセンター」を設置しました。

「業務サポートセンター」では、事務用品の調達・配布から備品の貸し出し、資料作成のサポート、会議の資料準備・会場設営までこれまで職員が担ってきた業務をまるごとサポートしています。

職員は、サポートを受けることで、公務員の権限や専門性等を要する業務に集中できる時間の確保ができます。

<改善運動の特色やアピールポイントなど>

- 事務用品の調達、資料調製、会議支援、備品管理など自治体の庶務業務をこれほど広範に一括してサポートしている仕組みは全国でも珍しく、国や各自治体が多数視察に訪れました。
- 業務サポートを受けることで、実務の負担が軽減され、自治体職員が自ら考え、行動できる時間ができ、働き方が変わります。
- 事務用品購入等の契約事務のミスの減少、余剰在庫の減少、それに伴い執務室や収納庫等の整理整頓など様々な効果があります。

<メッセージ・意気込み>

**コロナ禍や社会情勢の変容により自治体を取り巻く環境は著しく変化しています。
職員が意欲的に働くことができる環境づくりが住民サービスの向上に直結します！**

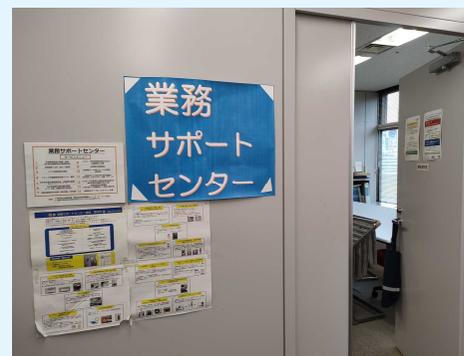


第18回港区観光フォトコンテスト入賞作品から

部署名	港区総務部契約管財課
タイトル	自治体職員の働き方が必ず変わる！ 役所の『業務サポートセンター』
改善前 【Before】	<ul style="list-style-type: none">・ 導入当時は、超過勤務の縮減、年休取得の促進など職員の働き方改革が求められていました。・ 軽微な不適正事務が続き、是正が求められていました。・ 人口増や住民サービスの拡充により職員の業務量が増加し、新たなチャレンジをすることが厳しい状況でした。・ 慢性的な収納不足で執務室や収納庫が物で溢れていました。

取組内容

区役所内に軽作業を中心に職員に代わって業務を担う『業務サポートセンター』を設置しました！



民間企業のオフィスを視察したところ、企業内に社員をサポートするチーム（外部委託）が設置されており、そこでは、消耗備品の管理・払い出しから、備品修理、出張先の宿泊予約・旅費の用意など様々なサポートが行われていました。

別の企業では、クリエイター集団が手書きのメモを分かりやすい資料にまとめるサービスを行っており、資料作成の時間を他の業務時間に充てていました。

取組内容

港区の業務サポートセンターでは、民間企業の視察からヒントを得て、職員が住民対応や政策検討を行うことが出来る時間の確保や、快適な執務環境を実現するためのサポートメニューの充実（現在15項目）を図っています。

<主なサポートメニュー>

- ・共通事務用品の管理・配送…週1回職場に事務用品を配送します。
- ・チラシやポスターの清書・デザイン化
- ・台車等の用品貸出…使用頻度が低く、嵩張る備品を貸し出します。
- ・会議資料の印刷・組み作業
- ・会議室の設営
- ・会議録の作成
- ・公務連絡カード(名刺)の作成



効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)

- ◎職員の多くが“業サポ”と呼び、**気軽に利用**しています。
- ◎細かな契約の事務が減少し、**不適正事務が減少**しています。
- ◎事務用品を必要量だけ調達できるので、**収納不足が解消**しています。
- ◎大量の用紙を一時保管することがなくなり、**執務室がすっきり**しています。
- ◎めったに使わない備品を共有することで、**無駄が減**っています。



職員の働き方が変わり、執務環境が改善されました！